

秋田県南工業振興会

第36号

【発行】秋田県南工業振興会事務局
横手市役所企業振興室内
0182 32 2111 内線 324
2001年11月19日

http://www.aki-takennan-net.gr.jp E-mail akks@rnac.ne.jp

この県外企業視察研修は
県外に立地されている企業を
視察・研修するにとりよって

県外企業視察は11月7日、会員企業22社30人が参加して岩手県北上市の関東シート製作所北上工場、金ヶ崎町の(株)関東自動車工業(株)岩手工場を訪問し、工場を視察させていただきました。

次々に新車が!

県外企業視察研修



関東自動車工業(株)岩手工場 (株)関東シート製作所北上工場 2工場を視察

その製品の大半は、関東自動車工場に納品されているもの

午前中、訪問させていただいた(株)関東シート製作所北上工場は平成5年9月に北上市に工場を新設し操業開始しました。

自社の問題点や他企業からの先進事例や、参考になる点などについて学ばせていただくこと、毎年開催している事業の二つになっています。

ベルトコンベアー方式
ヒストン輸送

でした。
生産台数は創業時の388台から、今では2270台を生産しています。

納品先の関東自動車工業でラインに流れる車がシート組立工程にさしかかるときにきちんとその製が厚くようなシステムになっており、ベルトコンベアー方式でヒストン輸送されているものでした。

生産体制については、4日前にメーカーから来る型の指示に合わせて、工程などを変えていくという点や、売れる

スピードで物を作り、在庫は持たないというシステムに、参加者の皆さんは感心しながら視察を行いました。

プレス、ボディ
塗装、組立→新車!

関東自動車工業(株)岩手工場は日本で一番新しい総合自動車生産工場で、8年前の平成5年9月から操業を開始しています。

工場は静岡岡部市にもあり、トヨタ車を中心に生産しており、北上工場はマーク

や、アルテッツァなどのスポーツスタンプの車を得意としています。

年間15万台の生産能力を持つ工場はテストコースなどを持つ広大な敷地の中に立地されています。プレスからボディ、塗装、組立と流れる生産ラインで、1台の車に部材が2万から3万個使われているという作業の中で、次々と新車が誕生する様子をの当たりにして、参加者の皆さんは一緒に興味深げに視察を行いました。

参加された企業

- (有)コーリヤマ
- (有)高石機械工業
- 秋田指月(株)
- ジューキ吉野工業(株)
- ジューキ電子工業(株)
- 秋田上日工業(株)
- アネスト岩田秋田(株)
- (株)ロイヤルパーツ
- 秋田銀行(株)横手支店
- 秋田陸合成(株)
- 宮腰精機(株)刈和野工場
- 横手運送(株)
- 秋田昭和産業(株)
- 秋田渥美工業(株)
- 秋田ナイルス(株)
- エーピーアイ(株)
- ユニシアジェーケーシー
- ステアリングシステム(株)
- 光ガラス(株)稲川事業所
- 宮腰情報機械(株)
- 羽後電設工業(株)
- 岡谷セイケン(株)
- (有)タブコ

H・Y・K・K 異業種交流会終える

本荘 横手 北上 釜石
本荘 横手、北上、釜石市
を持ち回りで開催しているH
YKK異業種交流会は、11月
9日、本荘グランドホテルを
会場に開催されました。

この交流会には全体で、百
三十人が集まりました。
会では、開催記念植樹を行
なったほか、記念講演をや、
各地区からの事例発表、交流
会などで盛り上がりました。
次回は釜石市での開催予定
となっており、多くの企業の
皆さんの参加が望まれています。

★～ナイトフォーラムin大曲～★

キーワードは「チャレンジ」

第13回を迎えたナイトフォーラムは11月9日(金)午後6時30分から大曲市の「グレストハウス フォーシーズン」で開催され、各企業や市民の人たち約70人が集まり、元本田

技研の大釜俊博氏による本田宗一郎氏の思い出話や、不況を乗り切るためにどうすればいいのかなどの講演や、大同衣料の佐々木社長等によるトークなどに聞き入りました。

好評のナイトフォーラムは「ミニ講演とトーク」という形で行なわれました。

講演は今回のゲスト、大釜俊博氏(元HONDDA OF AMERICA副社長)による「21世紀もさらなるチャレンジ」と題した講演が行なわれました。

大釜氏は「本田技研工業で培われた精神は今でも役に立っており、大事なことは企業



飲みながら食べながらのトーク



でも個人大釜氏でも、大きな目標を持って

れに執念をもって挑戦し、チャレンジしていくことが大事だ。失敗しても何度かチャレンジしていき、そこから学んでいけば必ず光は見えてくる

いい話しが聞けた...

トークではパネラーとして

大釜俊博氏を、コーディネーターには佐々木繁治氏(大同衣料(株)代表取締役)にお願いし、小笠原勝平氏(光山電気工業(株)管理部長)のテンポよい進行によって進められました。生き残りをかけた果敢なる挑戦を学ぶと題して、それぞれから熱く語っていただきました。



した。佐々木氏は「コナカブランドの礼服の

契約をしているが、より安くより良くを追求していくと最終的には海外展開にならざるを得ない。そうならないようにするための二つの考え方



ていく必要がある。大釜氏は「本田宗一郎氏のことばオヤジと呼んで親しみを覚えていたが、とても厳しい人で、いろんな場面で怒られた記憶がある。本田」といふ弁持は時間に厳しい

として、地域の中で工業と農業を一体としてとらえ、進め

経営品質セミナーにご参加を

県内企業でよりよい経営を目指している企業を対象に、それらの企業が更に自社を改革し向上を図る原動力となることを目的に、今年8月に発足した「秋田県経営品質協議会」がセミナーを開催することに、振興会会員には是非参加してほしいと案内されています。

日時 12月12日(水) 14:00～16:30

場所 横手セントラルホテル ラポート2F

テーマ (1)日本経営品質賞の最新動向について「21世紀に勝ち残るために」
日本経営品質賞委員会2000年度主任審査委員
経営品質協議会指定講師 明道弘政氏

(2)受賞企業事例の紹介
株式会社 あさ開 代表取締役社長 村井良隆氏
(2000年度岩手県経営品質賞 受賞企業)

参加費 一人 3,000円

問合せ 秋田県経営品質協議会事務局(秋田商工会議所内)

TEL 018-866-6677 FAX 018-862-2101

所で、時間管理を有効に使うためにはまるごとであり、このこともきちんと考えた経営をしていく必要がある」と話していました。

参加者の一人は「厳しい時代になってきた時期にいい話を聞けた」と話していました。

次回は、2月に横手市での開催予定になっています。